

はじめに

感染症対策のもと、ほとんどの教育活動や各行事が行えるようになってきました。コロナ禍において、ICT 機器は、学習での効果的活用が進められ、また、働き方改革の手段としても導入が進んでいます。ご覧になりたい方にいつでも見ていただけるようにとの考えから、この年報に発出方法も、昨年度より、ホームページ掲載としています。

さて、本年度の年報では、「本校の研修の取組」「感覚ルーム・教材ルーム」「教育実践報告(学習指導案)」「研修報告」を掲載しました。本校の個別の教育支援計画「A²(エイ・ツー)」を使い、児童生徒の実態把握を行っていることが、各項目のベースになっています。児童生徒の実態把握、有効な合理的配慮例、学習指導要領の段階判断ができるA²は、地域支援を通じて、本校の通学区域の校園で活用されるケースが出てきました。また、本校のホームページに掲載したことで、他府県の先生方にもご活用いただき、夏に実施したA²活用公開研修には、全国から36校のご参加をいただきました。この年報と合わせて、A²につきましても、ご覧いただき、ご意見やご感想を頂ければ大変うれしく存じます。

令和5年3月

大阪府立住之江支援学校
校長 南 晃 二